

平成30年3月16日（金曜日）

---

議事日程第5号

平成30年3月16日（金曜日）午前10時開議

---

- 第 1 議長報告
- ・平成29年度定期監査報告書
  - ・財政援助団体等監査報告書
  - ・例月現金出納検査結果
- 第 2 議案第10号 大仙市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 議案第11号 大仙市個人情報保護条例及び大仙市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 議案第12号 大仙市税条例の一部を改正する条例の制定について  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 議案第13号 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について (総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 6 議案第14号 大仙市工業等振興条例の一部を改正する条例の制定について  
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 7 議案第25号 大仙市家畜導入事業資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について (企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 8 議案第26号 大仙市南外森林総合利用施設設置条例を廃止する条例の制定について (企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 9 議案第30号 大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について  
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第 1 0 議案第 1 5 号 大仙市市民会館等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 1 議案第 1 6 号 大仙市旧池田氏庭園条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 2 議案第 1 7 号 大仙市テニスコート条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 3 議案第 1 8 号 大仙市サン・スポーツランド協和条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 4 議案第 1 9 号 大仙市仙北健康広場条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 5 議案第 2 0 号 大仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 6 議案第 2 1 号 大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 7 議案第 2 7 号 大仙市荒川鉦山跡地施設条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 8 議案第 2 8 号 大仙市花火伝統文化継承資料館条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 1 9 議案第 3 5 号 平成 3 0 年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入れについて (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 0 議案第 2 2 号 大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 1 議案第 2 3 号 大仙市都市公園の設置に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 2 議案第 2 4 号 大仙市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第 2 3 議案第 2 9 号 大仙市上下水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の制定  
について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 4 議案第 3 1 号 市道の路線の認定及び廃止について  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 5 議案第 3 2 号 平成 2 9 年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入額の変更  
について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 6 議案第 3 3 号 平成 2 9 年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計への  
繰入額の変更について  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 7 議案第 3 4 号 平成 2 9 年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変  
更について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 8 議案第 6 2 号 大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 2 9 議案第 3 6 号 平成 2 9 年度大仙市一般会計補正予算 (第 1 4 号)  
(各常任委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 0 議案第 3 7 号 平成 2 9 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 2  
号) (総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 1 議案第 3 8 号 平成 2 9 年度大仙市奨学資金特別会計補正予算 (第 1 号)  
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 2 議案第 3 9 号 平成 2 9 年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 3  
号) (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 3 議案第 4 0 号 平成 2 9 年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正  
予算 (第 5 号) (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 4 議案第 4 1 号 平成 2 9 年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3  
号) (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 5 議案第 4 2 号 平成 2 9 年度大仙市太陽光発電事業特別会計補正予算 (第 2  
号) (総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 6 議案第 4 3 号 平成 2 9 年度大仙市上水道事業会計補正予算 (第 2 号)  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第 3 7 議案第 4 4 号 平成 2 9 年度大仙市簡易水道事業会計補正予算 (第 5 号)  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 8 議案第 4 5 号 平成 3 0 年度大仙市一般会計予算  
(各常任委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 3 9 議案第 4 6 号 平成 3 0 年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 0 議案第 4 7 号 平成 3 0 年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 1 議案第 4 8 号 平成 3 0 年度大仙市学校給食事業特別会計予算  
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 2 議案第 4 9 号 平成 3 0 年度大仙市奨学資金特別会計予算  
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 3 議案第 5 0 号 平成 3 0 年度大仙市スキー場事業特別会計予算  
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 4 議案第 5 1 号 平成 3 0 年度大仙市太陽光発電事業特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 5 議案第 5 2 号 平成 3 0 年度大仙市内小友財産区特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 6 議案第 5 3 号 平成 3 0 年度大仙市大川西根財産区特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 7 議案第 5 4 号 平成 3 0 年度大仙市荒川財産区特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 8 議案第 5 5 号 平成 3 0 年度大仙市峰吉川財産区特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 4 9 議案第 5 6 号 平成 3 0 年度大仙市船岡財産区特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 0 議案第 5 7 号 平成 3 0 年度大仙市淀川財産区特別会計予算  
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 1 議案第 5 8 号 平成 3 0 年度市立大曲病院事業会計予算  
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)

- 第 5 2 議案第 5 9 号 平成 3 0 年度大仙市上水道事業会計予算  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 3 議案第 6 0 号 平成 3 0 年度大仙市簡易水道事業会計予算  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 4 議案第 6 1 号 平成 3 0 年度大仙市下水道事業会計予算  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 5 請願第 3 号 米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願  
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 6 請願第 4 号 種子法廃止に伴う万全の対策をもとめる請願  
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 7 陳情第 6 号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情  
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 8 陳情第 5 号 陳情書(平成 2 9 年 7 月豪雨災害について)  
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 第 5 9 意見書案第 4 号 米の生産費を償う価格下支え制度を求める意見書  
(質疑・討論・表決)
- 第 6 0 意見書案第 5 号 種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書  
(質疑・討論・表決)
- 第 6 1 意見書案第 6 号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書  
(質疑・討論・表決)
- 第 6 2 各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出について
- 第 6 3 議案第 6 3 号 副市長の選任について (説明・質疑・討論・表決)

---

出席議員(28人)

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1 番 高 橋 幸 晴   | 2 番 小笠原 昌 作   | 3 番 三 浦 常 男   |
| 4 番 佐 藤 隆 盛   | 5 番 挽 野 利 恵   | 6 番 秩 父 博 樹   |
| 7 番 石 塚 柏     | 8 番 富 岡 喜 芳   | 9 番 本 間 輝 男   |
| 1 0 番 藤 田 和 久 | 1 1 番 佐 藤 文 子 | 1 2 番 小 山 緑 郎 |
| 1 3 番 小 松 栄 治 | 1 4 番 後 藤 健   | 1 5 番 佐 藤 育 男 |
| 1 6 番 古 谷 武 美 | 1 7 番 児 玉 裕 一 | 1 8 番 佐 藤 芳 雄 |

19番 高橋 徳久      20番 橋本 五郎      21番 渡邊 秀俊  
22番 佐藤 清吉      23番 金谷 道男      24番 大山 利吉  
25番 鎌田 正      26番 高橋 敏英      27番 橋村 誠  
28番 茂木 隆

---

欠席議員（0人）

---

遅刻議員（0人）

早退議員（0人）

---

説明のため出席した者

市長	老松 博行	副市長	佐藤 芳彦
教育長	吉川 正一	代表監査委員	福原 堅悦
総務部長	今野 功成	企画部長	五十嵐 秀美
市民部長	佐川 浩資	健康福祉部長	逸見 博幸
農林部長	福田 浩	経済産業部長	小野地 洋
建設部長	古屋 利彦	災害復旧事務所長	進藤 孝雄
上下水道部長	高階 仁	病院事務長	富樫 公誠
教育指導部長	伊藤 雅己	生涯学習部長	安達 成年
総務課長	福原 勝人		

---

議会事務局職員出席者

局長	伊藤 義之	参事	堀江 孝明
主幹	齋藤 孝文	主席主査	佐藤 和人

---

午前10時00分 開 議

○議長（茂木 隆） おはようございます。これより本日の会議を行います。

---

○議長（茂木 隆） 本日の議事は、議事日程第5号をもって進めます。

---

○議長（茂木 隆） この際、議会運営委員会開催のため、暫時休憩いたします。再開時刻は後程お知らせいたします。

午前10時00分 休 憩

.....  
午前10時06分 再 開

○議長（茂木 隆） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

---

○議長（茂木 隆） お諮りいたします。老松市長より、本会議第3日の一般質問、9番本間輝男君に対する答弁に誤りがあり、訂正の申し出がありました。この訂正の申し出を許可することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって、市長の発言訂正の申し出を許可することに決定いたしました。

発言をお願いします。老松市長。

○市長（老松博行） 去る3月6日の平成30年第1回定例会第3日に行われました本間輝男議員の西仙北中央公民館改築事業に係る一般質問に対する答弁におきまして、誤りがありましたので答弁の訂正をさせていただきたいと存じます。

内容につきましては、安達生涯学習部長に説明させますので、よろしく願い申し上げます。

○議長（茂木 隆） 安達生涯学習部長。

○生涯学習部長（安達成年） 去る3月6日の平成30年第1回定例会第3日に行われました本間輝男議員の西仙北中央公民館改築事業に係る一般質問に対する私の答弁におきまして、「現在、公民館建築に係る国や県の補助事業がないことから、合併特例債による改築を進める予定であります。」と答弁いたしましたが、その後、調査したところ、都市再生整備計画事業交付金を活用できる可能性があることが判明しました。つきましては、今後、同制度を活用することを目指して調査を進めてまいりたいと考えておりますので、先の答弁を訂正し、おわび申し上げます。どうもすみませんでした。

○議長（茂木 隆） 以上で、発言の訂正を終了いたします。

---

○議長（茂木 隆） それでは、日程第1、諸般の報告をいたします。

平成29年度定期監査報告書、財政援助団体等監査報告書及び例月現金出納検査結果が市監査委員から提出されましたので、別添お手元に配付のとおり報告いたします。

---

○議長（茂木 隆） 日程第2、議案第10号から日程第5、議案第13号までの4件を一括して議題といたします。

本4件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長23番金谷道男君。

（「はい、議長、23番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、23番。

【23番 金谷道男議員 登壇】

○総務民生常任委員長（金谷道男） おはようございます。

本会議第4日、当委員会に審査付託となりました事件について、去る3月8日並びに9日の2日間にわたって委員会を開催し、関係部長等の出席を求め、慎重審査いたしましたので、その経過及び結果について、順次ご報告申し上げます。

はじめに、議案第10号「大仙市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」は、当局の説明に対し、質疑において「早出、遅出を申請した職員に対しては、確実に申請の申し入れを受け入れるという状況なのか。また、同じ部署等で申請者が重なり、業務に差し支えることが考えられるが、調整の配慮については、どうか。」との質問には「原則論から、全ての休暇制度は、業務に支障のない範囲で取ることになるが、長期休暇への臨時職員対応など、極力支障を取り除く努力をしている。早出、遅出に関しても、取得が極力できるよう配慮する。」との答弁でした。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第11号「大仙市個人情報保護条例及び大仙市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について」は、当局の説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第12号「大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について」は、当局の説明に対し、質疑において「入湯者数が減少傾向にある。入湯税を50円に引き下げたから入湯者が増えるものでもない。温泉利用客を増やす協議を関係各課と真剣にやらなければならないと思うが、いかがか。」との質問には「入湯税の引き下げは、平成

20年度から実施しているが、入湯者が減っていることは事実である。入湯者を増やすため、交通面の確保、施設の修理など、様々な面から検討していきたい。」との答弁でした。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第13号「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」は、当局の説明に対し、質疑において「住所地特例を規定することで後期高齢者の保険料等にどんな影響があるのか。」との質問には「県外の特別養護老人ホーム等に入所している後期高齢者は、現在入所している県の広域連合の保険料であるが、今後は秋田県の広域連合の保険料率で算定されるので保険料率が変わる。また、高額療養費負担区分及び自己負担割合は、全国統一となっている。」との答弁でした。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【23番 金谷道男議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております議案第10号から議案第13号までの4件を一括して採決いたします。本4件に対する委員長報告は原案可決であります。本4件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本4件は、原案のとおり可決されました。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第6、議案第14号から日程第9、議案第30号までの4件を一括して議題といたします。

本4件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長6番秩父博樹君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、6番。

【6番 秩父博樹議員 登壇】

○企画産業常任委員長（秩父博樹） 今期定例会本会議第4日に当常任委員会に審査付託となった事件につきまして、去る3月8日及び9日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第14号「大仙市工業等振興条例の一部を改正する条例の制定について」、議案第25号「大仙市家畜導入事業資金貸付基金条例を廃止する条例の制定について」、議案第26号「大仙市南外森林総合利用施設設置条例を廃止する条例の制定について」及び議案第30号「大曲仙北広域市町村圏組合規約の一部変更について」の4件につきましては、当局からの内容説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本4件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【6番 秩父博樹議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております議案第14号、議案第25号、議案第26号及び議案第30号の4件を一括して採決いたします。本4件に対する委員長報告は原案可決であります。本4件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本4件は、原案のとおり可決されました。

---

○議長（茂木 隆） 次に、日程第10、議案第15号から日程第19、議案第35号までの10件を一括して議題といたします。

本10件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長13番小松栄治君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、13番。

【13番 小松栄治議員 登壇】

○教育福祉常任委員長（小松栄治） 本会議第4日に当委員会に付託になりました事件につきまして、去る3月8日及び9日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過と結果についてご報告いたします。

議案第15号「大仙市市民会館等に関する条例の一部を改正する条例の制定について」であります。当局の内容説明を了とし、質疑及び討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第16号「大仙市旧池田氏庭園条例の一部を改正する条例の制定について」であります。当局からの内容説明に対し、委員から「常時公開となり、来年度から導入される『年間パスポート』は、他の同様の施設でも導入されているか。また、販売目標を設定しているか。」との質疑があり、これに対しまして当局より「東北地区の名勝指定となっている13カ所を調べたが、導入しているのは秋田市の『如斯亭』のみであった。また、販売目標については、常時公開となるのが30年度からであり、これまでの限定公開と違い、実績がないので推定できない。しかしながら、常時公開に合わせていろいろなイベントを織り込み、リピーターを増やすということで努めてまいりたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第17号「大仙市テニスコート条例の一部を改正する条例の制定について」から議案第21号「大仙市児童館及び児童センターに関する条例の一部を改正する条例の制定について」、議案第27号「大仙市荒川鉦山跡地施設設置条例の制定について」から議案第28号「大仙市花火伝統文化継承資料館条例の制定について」並びに議案第35号「平成30年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入れについて」の8件は、

当局の内容説明を了とし、質疑及び討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本 8 件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【13番 小松栄治議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております議案第 15 号から議案第 21 号まで、議案第 27 号、議案第 28 号及び議案第 35 号の 10 件を一括して採決いたします。本 10 件に対する委員長報告は原案可決であります。本 10 件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本 10 件は、原案のとおり可決されました。

---

○議長（茂木 隆） 次に、日程第 20、議案第 22 号から日程第 28、議案第 62 号までの 9 件を一括して議題といたします。

本 9 件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長 7 番石塚柏君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、7 番。

【7番 石塚柏議員 登壇】

○建設水道常任委員長（石塚 柏） ご報告いたします。

今次定例会本会議第 4 日に当委員会に審査付託となりました事件につき、去る 3 月 8 日及び 9 日の両日、委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

はじめに、議案第 22 号「大仙市公園条例の一部を改正する条例の制定について」から議案第 24 号「大仙市特別会計条例の一部を改正する条例の制定について」まで、議

案第 29 号「大仙市上下水道事業管理者の給与及び旅費に関する条例の制定について」、議案第 32 号「平成 29 年度大仙市公共下水道事業特別会計への繰入額の変更について」から議案第 34 号「平成 29 年度大仙市農業集落排水事業特別会計への繰入額の変更について」まで及び議案第 62 号「大仙市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」の 8 件につきましては、当局からの内容説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本 8 件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第 31 号「市道の路線の認定及び廃止について」につきましては、当局からの内容説明に対し、委員から「今回廃止する路線の中で実際には道路となっていないところも含むのであるが、なぜ市道認定をしていたのか。」との質疑があり、当局からは「都市計画道路として計画していた路線を認定していたもので、建設計画がなくなったため廃止するものである。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【7 番 石塚柏議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております議案第 22 号から議案第 24 号まで、議案第 29 号、議案第 31 号から議案第 34 号まで及び議案第 62 号の 9 件を一括して採決いたします。本 9 件に対する委員長報告は原案可決であります。本 9 件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本 9 件は、原案のとおり可決されました。

○議長（茂木 隆） 次に、日程第 29、議案第 36 号から日程第 37、議案第 44 号までの 9 件を一括して議題といたします。

本 9 件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに、総務民生常任委員長 23 番金谷道男君。

（「はい、議長、23 番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、23 番。

【23 番 金谷道男議員 登壇】

○総務民生常任委員長（金谷道男） ご報告いたします。

議案第 36 号「平成 29 年度大仙市一般会計補正予算（第 14 号）」のうち、当委員会に付託された所管する予算については、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「地域振興基金積立金は、地域振興に貢献が考えられるハード事業に基金を活用する考えはないか。」との質問には「地域振興基金については、地域振興に資するソフト事業に充当することとしており、ハード事業については、各種補助制度や有利な起債の活用による財源の確保を図りながら進めてきている。」との答弁でした。

また、委員から「本庁舎中庭棟の市有財産売り払い収入が計上されていることについて、水道局にお客様センターができ、民間から 13 名が入るとのことだが、現在、水道検針にかかわっている臨時職員の処遇はどうなるのか。」との質問には「水道局のお客様センター関連については、料金徴収、水道メーター検針等は、今後、民間に委託されることになる。現在、検針業務に当たられている方々のうち、希望される方は、引き続き従事できることになる。」との答弁でした。

その他、2、3 の質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第 37 号「平成 29 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）」及び議案第 42 号「平成 29 年度大仙市太陽光発電事業特別会計補正予算（第 2 号）」の 2 件については、当局の説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本 2 件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) 質疑なしと認めます。

【23番 金谷道男議員 降壇】

○議長(茂木 隆) 次に、企画産業常任委員長6番秩父博樹君。

(「はい、議長」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) はい、6番。

【6番 秩父博樹議員 登壇】

○企画産業常任委員長(秩父博樹) ご報告いたします。

同じく議案第36号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する補正予算につきましては、当局からの内容説明に対し、質疑において、総合政策課所管の(仮称)花火伝統文化継承資料館等整備事業費では、「新しく建設されている資料館では、お土産を売るところができるのかという声を聞くが、どうか。」との質疑があり、当局からは「現在建設中の資料館では、売り場を設けていない。オープンの日や企画展の際は、産業展示館等を活用し、スポット的に出店してもらうことを検討している。また、絵葉書やしおりなど簡易的なものを事務所の窓口で販売できるよう、今後対応していきたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で、報告を終わります。

○議長(茂木 隆) ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) 質疑なしと認めます。

【6番 秩父博樹議員 降壇】

○議長(茂木 隆) 次に、教育福祉常任委員長13番小松栄治君。

(「はい、議長」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) はい、13番。

【13番 小松栄治議員 登壇】

○教育福祉常任委員長(小松栄治) ご報告いたします。

議案第36号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から、校舎等維持補修及び施設整備費について「事業説明書記載のトイレ工事が終了すれば改修率は何%になり、100%となるのはいつか。」との質疑があり、当局からは「記載の工事が終了すると改修率は63.8%となり、33年度の事業完成を目指している。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の内容説明を了とし、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

議案第38号「平成29年度大仙市奨学資金特別会計補正予算（第1号）」であります。当局からの補正内容の説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【13番 小松栄治議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、建設水道常任委員長7番石塚柏君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、7番。

【7番 石塚柏議員 登壇】

○建設水道常任委員長（石塚 柏） ご報告いたします。

議案第36号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、道路河川課の所管とする補正予算の内容の説明に対し、委員から、社会資本整備総合交付金に関連して「今冬は低温が続いているが、凍上災の対象にはならないか。」との質疑があり、当局からは「県からの情報では、現在、にかほ市が対象となる気象条件となっておりますが、大仙市は、まだわからない状況である。」との答弁がありました。

また、委員から「社会資本整備総合交付金の交付率が悪いので各種事業が停滞しているが、凍上災の対象となるのであれば、道路の舗装の打ち換えなどには可能な限り凍上災を利用してはどうか。」との質疑があり、当局からは「今後、情報を集め、要件に該

当する場合は採択に向けて対応し、凍上災で実施したい。」との答弁がありました。

そのほか、2、3の質疑がありましたが、当局の補正内容の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第39号「平成29年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から「昨年7月の豪雨災害を受け、国の補助制度を活用して大曲地域を対象に雨水管理総合計画を策定することだが、公共下水道区域の神岡・西仙北地域や、農業集落排水のある地域に、こういった計画はないのか。」との質疑があり、当局からは「この計画は、公共下水道区域に限った計画であり、神岡地域の一部、西仙北地域の一部も公共下水道のエリアに入っているが、西仙北地域での雄物川の氾濫による浸水被害は、堤防の整備が追いつかなかったのが原因である。大曲地域のような内水的な被害でなかったため、浸水被害が一番大きかった大曲地域を中心に計画を立ててまいりたい。」との答弁がありました。

また、委員から「この計画では、どのような工事施工が想定されているのか。」との質疑があり、当局からは「浸水対策として主に、流量計算をした上でのポンプの増設や、排水路の断面拡幅が想定される。」との答弁がありました。

そのほか質疑がありましたが、当局からの補正内容の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第43号「平成29年度大仙市上水道事業会計補正予算（第2号）」につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、委員から、宇津台浄水場更新事業について、「工事が遅れているが、この遅れのために施設の仕様等が変わることはないのか。」との質疑があり、当局からは「仕様については、ほぼ変わらない内容で進行していきたいと考えているが、事業費については、業者との契約条項にインフレスライド条項があるので、物価上昇等があった場合、業者からの申し出により見直すことはある。」との答弁がありました。

そのほか、2、3の質疑がありましたが、当局からの補正内容の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第40号「平成29年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正

予算（第5号）」、議案第41号「平成29年度大仙市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）」及び議案第44号「平成29年度大仙市簡易水道事業会計補正予算（第5号）」の3件につきましては、当局からの補正内容の説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本3件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【7番 石塚柏議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありませんので討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております議案第36号から議案第44号までの9件を一括して採決いたします。本9件に対する委員長報告は原案可決であります。本9件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本9件は、原案のとおり可決されました。

---

○議長（茂木 隆） 次に、日程第38、議案第45号から日程第54、議案第61号までの17件を一括して議題といたします。

本17件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに、総務民生常任委員長23番金谷道男君。

（「はい、議長、23番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、23番。

【23番 金谷道男議員 登壇】

○総務民生常任委員長（金谷道男） ご報告いたします。

議案第45号「平成30年度大仙市一般会計予算」のうち、当委員会に付託された所管する予算につきましては、所管課ごとに説明と質疑を行いましたので、所管ごとに質

疑の内容を報告いたします。

総務課の予算においては、明治150年事業関連経費について、「これは単年度事業だと思うが、市内でいろいろな分野でたくさん活躍されながらも、なかなか表彰されない方を、この機会に表彰するようなことを考えてはいかがか。」との質問には「明治から数えて150年目に当たるということで、近代の歩みをテーマとし、それをたどり、再確認し、未来へつなげるという趣旨であり、市民の表彰とはつながりにくいと思われる。」との答弁でした。

財政課の予算においては、「大仙市の合併特例債の枠はどのぐらいで、発行済みのものはどのぐらいあるのか。」との質問には、『大仙市の発行可能額は、約513億円であり、発行済み額は、まだ確定していないものもあるが、約47%となっている。ただこれは、発行可能額であり、全国的に見ても満額発行しているところはないと思われる。』との答弁でした。

税務課・債権管理課の予算においては、コンビニ収納導入費について、「利便性は高まるものと思うが、通常、銀行等に納める手数料とコンビニを通じての手数料では、どのぐらいの違いがあるのか。」との質問には「通常の口座振替は、税抜きの10円である。今回のコンビニ収納の場合は、税抜きで57円となる。これだけの費用を投じて、24時間365日納付できるという環境ができることから、市民サービスの向上につながるものと思う。」との答弁でした。

総合防災課の予算においては、「Jアラートの新型受信機導入費については、市債を財源とするということだが、この市債の地方交付税算入率は100%なのか。また、新型受信機導入は、県内一斉となるのか。」との質問には「交付税算入率は、70%である。また、必要な情報取得の方法であるため、県内では、一斉に導入するものと思っている。」との答弁でした。

選挙管理委員会事務局の予算においては、4月中旬の県議会議員選挙執行経費に関連して、「選挙権が18歳以上となったが、就職、進学後に、わざわざ帰ってきて選挙するということはないと思われる。投票日の設定には、工夫が必要でないかと感じるが、いかがか。」との質問には「投票日の設定は、任期満了前には、やらないといけなないので、投票日を移動するのは難しいと思う。ただし、18歳になった方々へは選挙権があること、進学・就職で引っ越しする場合は、住所を移す必要があるなどのメッセージを載せたはがきを送っている。不在者投票も来るが、住所地で投票に行くよう進めてい

る。」との答弁でした。

市民課の予算においては、「マイナンバーカードの普及率はどのぐらいか。また、平成29年度の決算見込みは、どのぐらいか。」との質問には「マイナンバーカードの申請率は、2月28日時点で、8.8%となっている。また、29年度の決算見込みは、702万4千円くらいと見ている。」との答弁でした。

環境交通安全課の予算においては、快適居住環境整備事業費について、「大曲地区と太田地区の2カ所となっているが、このほかにも要望されたことは、あるのか。」との質問には、「まだ、要望されている箇所が数箇所ある。優先順位の高いものとか、要望された時期の順番で、予算を勘案しながら整備していく。」との答弁でした。

また、委員から「側溝の整備に農林整備課から一部引き継いだとあるが、同じ事業を複数の課にわたっている。横の連携はどのようになっているか。」との質問には「要望に来られたときは、現地調査に環境交通安全課、農林整備課、道路河川課と一緒に出向き、どこの事業になるかを協議しながら進めている。」との答弁でした。

消費生活センターの予算においては、「高齢者の通販では、かなり大量に買い込む方が増えてきているが、関係課との連携を考えながら対応をしていただきたいと思いますか、いかがか。」との質問には「大仙市消費者被害防止連絡協議会を設置しており、警察署や社会福祉団体、市の福祉部局も含めて連携し、横の連絡を強化しながら通販でのケースを早期に発見できるよう努めている。」との答弁でした。

なお、議会事務局、秘書課、契約検査課、雪対策推進室、会計課、監査委員事務局に対する質疑はありませんでした。

討論において、「私たちが一貫して反対してきたマイナンバー推進予算が計上されていることから、本予算案に反対する。」との発言がありました。

挙手による採決の結果、出席委員の賛成多数をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に議案第46号「平成30年度大仙市国民健康保険事業特別会計予算」につきましては、当局からの説明内容に対し、質疑において「納付金について100%納めなければならないと聞くが、今後、納付率の関係でどのようになるかを伺う。」との質問には、「大きな災害等に伴って収納不足が生じ、納付金が納められない場合には、県の基金が交付されることもあるが、保有している基金を利用して納付することになる。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第47号「平成30年度大仙市後期高齢者医療特別会計予算」については、当局からの説明内容に対し、質疑において「特例軽減の見直しというのは、具体的にどのように行われるのか。また、影響を受ける人は何人で、1人当たりの負担増は、どのくらいか。」との質問には「特例で軽減しているものは、今、段階的に廃止している状況であり、一つは、所得割5割軽減となっていた方が平成29年度は2割、30年度には軽減なしとなり、約1,390人で、1人当たり約4,400円の負担増、もう一つは、社会保険の被扶養者で均等割9割軽減となっていたものが、平成29年度は7割、30年度は5割軽減となり、2,300人の方が影響します。1人当たりの金額は7,942円の負担増となる。」との答弁がありました。

討論において、「後期高齢者医療保険の軽減を見直すことにより、保険料負担増となることが明らかであることから本予算案に反対する。」との発言がありました。

挙手による採決の結果、出席委員の賛成多数をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第51号「平成30年度大仙市太陽光発電事業特別会計予算」については、当局からの説明内容に対し、質疑において「今年のように雪が多いと、太陽光のガラスまで雪が届いて、落ちない状況を見ている。真冬は、発電量を期待しないと言いつつも、現実には発電しているので、管理の面をもう少ししっかりできないかと思うが、いかがか。」との質問には、「豪雪地帯であり、早めに対策をすればいいが、除雪作業については、西仙北地域で障害者福祉施設を運営している社会福祉法人柏仁会と委託契約を結んで実施している。毎日とはいかないようである。今年は、環境交通安全課の職員も行って除雪作業をしている。」という答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第52号「平成30年度大仙市内小友財産区特別会計予算」から議案第57号「平成30年度大仙市淀川財産区特別会計」までの6件につきましては、当局の内容説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本6件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。  
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【23番 金谷道男議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、企画産業常任委員長6番秩父博樹君。  
（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、6番。

【6番 秩父博樹議員 登壇】

○企画産業常任委員長（秩父博樹） ご報告いたします。

同じく議案第45号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの内容説明に対し、質疑において、はじめに、まちづくり課所管の移住・定住推進事業費の予算では、「移住者数が年々増えているようだが、市民からは、当市にはお試し住宅がないということも言われている。さらに移住者を増やすため、必要と考えるがどうか。」との質疑があり、当局からは「お試し住宅については、現在実施中の旅費の一部を助成している『お試し移住体験』とあわせ、お試し住宅を設置することができれば、さらに移住促進につながるものと考えており、取り組みを進めてまいりたい。」との答弁がありました。

次に、農業振興課所管の農業6次産業化推進事業費の予算では、「いぶりがっこ用の原材料に対する支援について、生大根1kg当たり5円などと小額である。大根の収穫は難儀な作業のため、収穫機器導入に対して支援を行ってはどうか。」との質疑があり、当局からは「原材料の調達が困難なため、原材料の確保を目的に、生産者に対し補助している。収穫機械等の導入については、畑作園芸振興事業などにより支援している。」との答弁がありました。

次に、企業商工課所管の資格取得応援事業費の予算では、「新規対象資格として、保育士資格、幼稚園教諭資格となっているが、こういった内容に補助するのか。」との質疑があり、当局からは「これは、学生を除く方を対象に、通信教育等により資格を取得しようとする経費に対し、補助するものである。」との答弁がありました。

次に、企業誘致対策事業費の予算では、「昨年10月から雇用している企業専門監2人の実績について教えていただきたい。」との質疑があり、当局からは「2月末までで189社に対し、市の企業誘致ガイドの配布や情報提供、市内企業とのマッチングなど

を行っている。今月末には、大仙市に適した企業等の協議を行い、今後のトップセールス等の誘致活動につなげてまいりたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で、報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【6番 秩父博樹議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 委員長報告の途中ですが、この際、暫時休憩いたします。午前11時10分に再開いたします。

午前11時00分 休 憩

.....  
午前11時09分 再 開

○議長（茂木 隆） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

委員長報告を続けます。

次に、教育福祉常任委員長13番小松栄治君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、13番。

【13番 小松栄治議員 登壇】

○教育福祉常任委員長（小松栄治） 報告いたします。

議案第45号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの内容説明に対し、委員から、かわ舟の里角間川改築事業費補助金について、「今年度中、本体工事の完成を予定していたが、県の施設整備費補助金の事業不採択等により平成30年度に先送りとなっている。本体工事等の発注は、いつ頃を予定しているのか。」との質疑があり、当局からは、「事業実施主体は社会福祉法人『水交会』であり、平成30年4月の工事発注を予定していると聞いている。」との答弁がありました。

次に、包括的支援事業任意事業費についてであります、「配食サービスの利用者が年々減少しているとのことだが、その理由は何か。」との質疑があり、当局からは、「配食サービスという名称であるが、週1・2回の安否確認に主眼を置いた事業となっている。これ以上、回数を増やすことへの対応が難しいことや食事付介護サービス等が充実してきたことが考えられる。」との答弁がありました。

次に、生活困窮者自立支援事業費について、委員から「先日、委員会で越谷市を訪問し、当該事業について勉強する機会があったが、当市ではどのような相談窓口があるのか、また、あるとしたら市民に対しての制度の周知は行われているのか。」との質疑があり、当局からは「大仙市では、自立相談支援と家計相談支援の事業を大仙市社会福祉協議会に就労支援については、NPO法人大仙親と子の相談支援センターに委託しており、そちらで窓口を開設している。

また、制度の周知については、市の広報やパンフレットで行っている。」との答弁がありました。

次に、保育士確保推進事業費について、委員から「保育士の確保は厳しいと聞いているが、大仙市の平成30年度の状況はどうか。」との質疑があり、当局からは、「平成30年度の各法人の職員配置状況は、まだ把握していないが、市内保育所等に利用申し込みされた子どもは、全て受け入れる。できるだけ保育士の確保をさせていただいている。」との答弁がありました。

次に、予防接種経費について、委員より「乳幼児・児童生徒の対象年齢が定められているが、何らかの理由で期間を逃せば接種できない場合もあるので、市独自に対象年齢の範囲を広げることにはできないか。」との質疑があり、当局からは「対象者は予防接種法で定められている年齢があり、それ以外の期間で接種した場合は、任意接種となり、保護者が医療機関に相談して接種することになるが、入院中や疾病等の理由で期間内に接種できない場合には、可能な限り対応しており、対象年齢の範囲拡大については今後検討してまいりたい。」との答弁がありました。

次に、（仮称）花火伝統文化継承資料館管理費について、委員より「美術館であれば3カ月から半年ごとに展示物の入れ替えがあり、その度ごとに来場される方が多い。資料館には展示室があり、工夫した展示を行ってほしい。また、展示するだけでなく、それを解説するような案内人の育成が必要と思う。」との意見があり、当局からは「総合政策課と協議の中で、概ね3カ月に1回ぐらいは企画展示の内容を入れ替えする

方向で確認している。また、案内人の充実は必ず必要だと思うので、運営委員会で早急に協議してまいりたい。」との答弁がありました。

その他、質疑がありましたが、討論において、教育振興費補助金について「合併前の旧町村が地元の高校を支援する目的で後援会に支出しているとのことであるが、根拠がはっきりしない支出であり、反対である。」、また、総合市民会館運営費について、「自衛隊の組織である音楽隊の公演が自主事業公演として予定されている。自衛隊の宣伝や隊員募集推進を図り、会場によってはパンフレットを配るなど、市民の批判が出ていることもあり、反対である。」との発言がありました。

挙手による採決の結果、出席委員の賛成多数をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第48号「平成30年度大仙市学校給食事業特別会計予算」であります。当局の内容説明に対しまして委員から「厨房設備に耐用年数等があると思うが、どのように考えて改修等を行っているのか。」との質疑があり、これに対しまして当局からは「厨房設備の耐用年数は、おおよそ10年ぐらいと考えているが、その年数で入れ替えをするのは、この厳しい財政事情の中では無理があり、定期的な保守点検を行い、補修をしながら延命を図っている。」との答弁がありました。

その他、質疑がありましたが、当局の説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第49号「平成30年度大仙市奨学資金特別会計予算」から議案第50号「平成30年度大仙市スキー場事業特別会計予算」並びに議案第58号「平成30年度市立大曲病院事業会計予算」であります。当局からの内容説明を了とし、質疑及び討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【13番 小松栄治議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、建設水道常任委員長7番石塚柏君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、7番。

【7番 石塚柏議員 登壇】

○建設水道常任委員長（石塚 柏） ご報告いたします。

議案第45号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、道路河川課の所管する予算の内容説明に対し、委員から、道路改良事業費について、「新規路線の着手を見送ったとのことだが、その具体的な理由は何か。」との質疑があり、当局からは「災害復旧工事を優先させるというのが基本的な考え方であり、工事の件数もかなり多く、また、受注する業者の状況等を考慮したものである。」との答弁がありました。

また、委員から、水害対策費について、「常設ポンプについては、能力等の機能強化を図り、整備されてきているが、移動式ポンプについては『数が足りず、準備してほしい』との市民の声がある。このことについて、市ではどのように考えているのか。」との質疑があり、当局からは「これまで常設ポンプで排水が追いつかなかった場合に、業者から移動式ポンプを借り上げるなどして対応してきている。現在、常設ポンプを増強するため予算措置をしているが、それを補完するためにも、今後も移動式ポンプについては、業者から借り上げる形で対応したい。」との答弁がありました。

次に、用地対策課の所管する予算の内容説明に対し、委員から、国土調査事業費について、「平成30年度は、今現在調査している西仙北・協和・太田地域以外に、新たな地域の調査はしないのか。」との質疑があり、当局からは、「今のところ新たな地域を調査することは考えていないが、平成32年から国土調査の第7次10カ年計画が始まるので、その10カ年計画の中で現在休止している中仙地域や大曲地域の未実施区域を含めて、市全体の計画区域を決定してまいりたい。」との答弁がありました。

次に、都市管理課の所管する予算の内容説明に対し、委員から、公園維持管理費について、「経年劣化した公園の遊具は、原則解体とのことだが、新たに設置する計画はないのか。」との質疑があり、当局からは、「現在のところ、遊具の新設は考えていないが、遊具が必要だという要望があれば、その都度検討し、対応してまいりたい。」との答弁がありました。

また、委員から「実際、公園で遊ぶ子どもたちの保護者から、遊具に対する要望はないのか。」との質疑があり、当局からは「例えばブランコや鉄棒など、一般的な遊具に関しては『残してほしい』との要望は多数ある。そのような場合は、修繕して残してい

きたいと考えている。」との答弁がありました。

次に、建築住宅課の所管する予算の内容説明に対し、委員から、住宅リフォーム支援事業費について、「事業の開始から約10年が経過しているが、事業の継続等についての検討はされているのか。」との質疑があり、当局からは「補助額は毎年同じくらいで推移をしており、これが減ってくると需要がなくなってきたということで縮小も検討されるが、現在は人気もあることから、今後の状況を見ながら継続してまいりたい。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、当局の内容説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第59号「平成30年度大仙市上水道事業会計予算」につきましては、当局からの内容説明に対し、委員から、配水施設拡張改良事業について、「配水管の耐用年数は40年とのことだが、市内に耐用年数を超えたものはあるのか。また、40年を経過したものは、その都度、更新しているのか。」との質疑に対し、当局からは、「残念ながら40年経過している配水管もある。また、40年以上経過したものもあるので、漏水等が頻発している地域に優先的に予算をつけて更新している状況である。」との答弁がありました。

また、委員から、「予算面も含め、計画的に配水管を更新していくべきではないか。」との質疑があり、当局からは「配水管の布設年度を記載している台帳があるので、それをもとに計画的に更新していくことを検討したい。」との答弁がありました。

その他、質疑がありましたが、当局の内容説明を了とし、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

次に、議案第60号「平成30年度大仙市簡易水道事業会計予算」及び議案第61号「平成30年度大仙市下水道事業会計予算」の2件につきましては、当局からの内容説明を了とし、質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本2件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【7番 石塚柏議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論の通告がありますので発言を許します。11番佐藤文子さん。

（「はい、11番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、11番。

【11番 佐藤文子議員 登壇】

○11番（佐藤文子） 私は、議案第45号、平成30年度大仙市一般会計予算に反対討論を行います。

市の予算編成は、国の予算と地方財政計画と切り離して考えることはできません。政府2018年度予算の特徴は、賃上げや投資を口実とした大企業減税など、貧困と格差拡大をもたらすアベノミクスの推進、史上最高となる防衛関係費、その一方で自然増分の削減による社会保障関係費の抑制、中小企業や農業予算の削減、さらには文教予算の減額、そして地方交付税の削減と言われております。

これを受けて地方財政計画では、政府は自治体の一般財源について、地方交付税と臨時対策債は減少とするものの、地方税や地方譲与税などの増によって前年を上回る額を確保したと言っております。

さて、大仙市の一般財源はどうでしょうか。前年を上回るどころか、市税で1.1%の減、地方交付税では6.1%も減少しております。かろうじて財政調整基金繰り入れによって減少幅を2.7%減、8億2,927万5千円の減額にとどめているのであります。

大幅に減額となった地方交付税は、合併算定替えの終了の影響もありますが、そのほかに地方交付税交付額の決定に直結する基準財政需要額算定にトップランナー方式を導入し、推進していることや、人口減少対策や地域の元気創造事業の取り組み、これに成果にシフトするといった、ゆがんだ地方交付税制度の影響も少なくありません。

トップランナー方式は、指定管理者導入や民間委託による行革を進めることによって、行政経費水準を引き下げ、もって地方交付税の減額を凶ろうとするもので、2016年度から始められてまいりましたが、今後さらに窓口業務にも拡大されようとしております。

市では、上下水道事業が今年度から完全な公営企業としてスタートするわけですが、

検針作業や料金徴収業務を法人化へ委託するというふうにも伺っております。

こうしたトップランナー方式の導入は、市財政をさらに悪化させる地方交付税減少の源になっているわけであり、進めるべきではないと考えます。

一方、歳出を見ますと、まず総務費関係では、安倍政権が進めるマイナンバーカード普及のための予算が計上されております。

私たち日本共産党は、一貫して反対してまいりました。マイナンバーカード交付事業は、3年目を迎えますが、準備経費を含め、これまで約4,000万円を投じてまいりました。しかし、その普及率は8.8%にとどまっており、依然として国民の間には個人情報漏洩や紛失など、マイナンバー制度のリスクへの不安があります。

この1月からは、銀行や郵便局の預貯金口座にマイナンバーを登録する制度が始まっております。恐れていたプライバシー漏洩の心配が現実のものとなり、税と社会保障の個人情報を国が一括管理することの危険性が一層増しており、賛成できるものではありません。

次に、民生費関係では、安倍政権が進める社会保障自然増削減策に沿って生活扶助基準引き下げを中心とした生活保護費大幅減額が行われております。保護脱却のための就労支援体制の強化や医療扶助適正化などで新たに申請することに躊躇をしたり、受診控えが起こったりというようなことのないよう、配慮を願うものであります。

次に、教育費に関連して2点、改善を求める立場から指摘させていただきます。

1点目は、教育振興費補助金が西仙北後援会と大曲農業高校太田分校後援会、これは後援会ではなく、正しくは振興会というふうになっているようではありますが、ここに出されております。この補助金要綱によりますと、対象事業は、福祉活動や地域交流活動などとなっております。これらはそれぞれの高校の特色ある校風に基づく教育活動の一環であり、教育活動への補助だと考えます。したがって、2校に限定せず、私は公立・私立にこだわらず、現に福祉活動、ボランティア活動をたくさんやっておられる学校があります。そういった学校にも、きちんと補助金をむしろ交付することが正しいものだと思います。そういう意味で、圏域高校も対象とすべきであり、また、誤解を招くような後援会に支出するというふうなことをせずに、学校に支援すべきものだというふうを考えます。

2点目は、社会教育費の総合市民会館運営費において、自主事業として自衛隊音楽隊の演奏会を企画されているようであります。自衛隊音楽隊の演奏は、大変すばらしいも

ので、毎年満席になるなど盛況であると伺っております。

しかし、今、自衛隊をめぐって政府の安保法制の強行などで海外での戦争に巻き込まれる危険性が現実のものとなっており、また、自衛官志望者が減少している状況にあると言われております。

こうしたときに、市が自主事業として自衛隊の勧誘、あるいは広報活動に間接的に協力になるようなことは控えるべきではないかと思うものであります。

自衛隊音楽隊は、隊員の士気高揚と宣伝広報活動を主な任務としておりますが、有事の際は小銃を持ち、後方支援にあたるという活動が明記されているわけです。こうしたことから、この自主事業による自衛隊音楽隊の演奏会は控えるべきではないかということをお願いし、そして国の予算及び地方財政計画に沿った予算であるというふうなことから反対するものであります。

以上で一般会計予算に対する反対討論を終わります。

続きまして、議案第47号、平成30年度後期高齢者医療特別会計予算に反対討論を行います。

後期高齢者医療は、安倍内閣による社会保障費の自然増の削減路線のもと、昨年度より保険料軽減策の見直しが行われ、2年間に339億円も減額となっているものであります。その影響は、今年度だけでも大仙市の後期高齢者医療の被保険者1万6,300人余りのうち、4,690人に保険料の負担増をもたらすものであり、その額は所得割軽減の廃止されることにより、1人当たり約4,400円、社会保険の被扶養者だった方の均等割軽減が7割軽減から5割軽減へと縮減されることにより、1人当たり約7,940円の増となっているわけであります。

このことが本市の平成30年度後期高齢者医療特別会計予算の歳入において、保険料収入が前年比で4,567万9千円もの増額計上となった要因であります。

後期高齢者医療の運営と保険料の決定は、秋田県広域連合が行うものであります。保険料徴収事務は市が行うわけでありまして、高齢者に大幅な保険料負担をもたらす本案は認めるわけにはいかないのです。

以上で討論を終わります。

【11番 佐藤文子議員 降壇】

○議長（茂木 隆） 次に、19番高橋徳久君。

（「はい、議長、19番」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、19番。

【19番 高橋徳久議員 登壇】

○19番（高橋徳久） だいせんの会の高橋徳久でございます。発言の機会をいただき、ありがとうございました。

私は、議案第45号、平成30年度大仙市一般会計予算につきまして、賛成の立場から意見を述べさせていただきます。

老松市長が初めて編成された平成30年度大仙市一般会計予算であります。人口減による市税の減収や国からの普通交付金の大幅な削減により、財政調整基金の取り崩しを行うなど大変緊縮した予算となっており、編成にあたって事業費の精査や先送りなど全事業の見直しをされたりと大変なご苦勞があったようで、心から敬意を表したいと存じます。

施政方針の中で「防災減災対策の推進と都市基盤の整備」「少子化・人口減少対策」「大仙らしさ（地域資源）の活用」「地域の人づくり」「だいせんライフの確立と発信」の五つの視点に基づいて予算編成を行ったと伺いました。

老松市長は、地域の活性化に関して、以前から大仙市全体が元気にならないと言われており、「地域全体の元気づくり」として地域枠予算の拡充による市民主体の活動の支援、新たな地域活性化策の推進、道路補修等の機動的な対応を図るため、西部地域に直営パッチング班を新設、さらには平成31年度、コンビニエンスストアでの収納サービス実施に向けてシステムの改修を行うなど、市民サービスの大幅な向上に向けて、限られた財源の中できめ細やかな対応をされていると感じました。

今後とも市民目線と地域目線により、災害復旧・市民の福祉の向上に向け、施政方針で掲げられた施策を着実に実行され、成果を挙げられますことをご期待申し上げますとともに、市長はじめ職員の皆様お一人お一人が、ご健勝でご奮闘されますよう心からのエールを送り、賛成討論といたします。

ご静聴ありがとうございました。

【19番 高橋徳久議員 降壇】

○議長（茂木 隆） ほかに討論の通告がありませんので、これにて討論を終結いたします。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第45号を採決いたします。この採決は起立によって行います。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本

件は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者 25人 起立)

○議長(茂木 隆) 起立多数であります。よって本件は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第47号を採決いたします。この採決は起立によって行います。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は、委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者 25人 起立)

○議長(茂木 隆) 起立多数であります。よって本件は、原案のとおり可決されました。

次に、議案第46号並びに議案第48号から議案第61号までの15件を一括して採決いたします。本15件に対する委員長報告は原案可決であります。本15件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) ご異議なしと認めます。よって本15件は、原案のとおり可決されました。

---

○議長(茂木 隆) 次に、日程第55、請願第3号から日程第57、陳情第6号までの3件を一括して議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長6番秩父博樹君。

(「はい、議長」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) はい、6番。

**【6番 秩父博樹議員 登壇】**

○企画産業常任委員長(秩父博樹) ご報告いたします。

請願第3号「米の生産費を償う価格下支え制度を求める請願」、請願第4号「種子法廃止に伴う万全の対策をもとめる請願」、陳情第6号「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情」の3件につきましては、願意を妥当と認め、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本3件は採択すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長(茂木 隆) ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【6番 秩父博樹議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより請願第3号、請願第4号及び陳情第6号を採決いたします。本3件に対する委員長報告は採択であります。本3件は、委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本3件は、採択することに決しました。

---

○議長（茂木 隆） 次に、日程第58、陳情第5号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長7番石塚柏君。

（「はい、議長」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） はい、7番。

【7番 石塚柏議員 登壇】

○建設水道常任委員長（石塚 柏） ご報告いたします。

陳情第5号「陳情書（平成29年7月豪雨災害について）」につきましては、願意を妥当と認め、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は採択すべきものと決した次第であります。

また、市当局に対し、処理の経過と結果の報告を請求するものであります。

以上で報告を終わります。

○議長（茂木 隆） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

【7番 石塚柏議員 降壇】

○議長（茂木 隆） これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより陳情第5号を採決いたします。本件に対する委員長報告は採択であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本件は、採択することに決しました。

---

○議長（茂木 隆） 次に、日程第59、意見書案第4号から日程第61、意見書案第6号までの3件を一括して議題といたします。

意見書案第4号から意見書案第6号までの3件は、企画産業常任委員長から提出されております。

お諮りいたします。意見書案第4号から意見書案第6号までの3件は、会議規則第37条第3項の規定により、提案理由の説明を省略いたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本3件については、提案理由の説明は省略することに決しました。

これより質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております本3件については、会議規則第37条第2項の規定により、委員会には付託いたしません。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより意見書案第4号から意見書案第6号までの3件を一括して採決いたします。本3件は、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本3件は、原案のとおり可決されました。

お諮りします。ただいま議決されました意見書案第4号から意見書案第6号までの3

件については、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものについて、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) ご異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字、その他の整理は、議長に委任することに決しました。

---

○議長(茂木 隆) 日程第62、各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

各委員長から審査及び調査中の事件につき、会議規則第104条及び第110条の規定により、お手元に配付しましたとおり閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出がありました。

お諮りいたします。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び所管事務調査とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(茂木 隆) ご異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり決しました。

---

○議長(茂木 隆) 次に、日程第63、議案第63号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。老松市長。

【老松市長 登壇】

○市長(老松博行) 議案第63号、副市長の選任につきまして、ご説明申し上げます。

現在、空席となっております副市長に西山光博氏を選任するため、地方自治法第162条の規定により、議会の同意を求めるものであります。

これまで副市長の選任につきましては、内部の市職員や県職員を登用してまいりましたが、この度の選任にあたりましては、庁内に外の空気を入れて新たな風を吹かせ、職員に刺激を与えたいという思いと、市の最優先課題である災害復旧事業や重要施策の推進にあたっては、これまで以上に国との関係強化が必要不可欠であるとの思いから、財務省へ人材の推薦をお願いし、同省職員の西山氏を紹介していただいたものであります。

西山氏におきましては、国家公務員として国税局、大蔵省、財務省の業務に従事するとともに、複数の独立行政法人などで、主に経理や財務を担当するなど、行政経験が大

変豊富な方であり、今後の市の発展に貢献できる人材であると判断したものであります。

4月1日より就任させたいと考えております。

以上、ご説明申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご同意賜りますようお願いを申し上げます。

【老松市長 降壇】

○議長（茂木 隆） これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 質疑なしと認めます。

お諮りいたします。本件については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会の付託を省略いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本件については、委員会の付託を省略することに決しました。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） 討論なしと認めます。

これより議案第63号を採決いたします。本件は同意と決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（茂木 隆） ご異議なしと認めます。よって本件は、同意することに決しました。

---

○議長（茂木 隆） 以上で、本定例会の日程は全部終了いたしました。

---

○議長（茂木 隆） これにて平成30年第1回大仙市議会定例会を閉会いたします。

長期間にわたり、大変ご苦勞様でした。

午前11時54分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会議長

議 員

議 員

議 員

